

市の将来都市像
多摩丘陵にはばたく
市民文化都市

第1266号

発行・町田市 編集・企画部広報広聴課
〒194-8520 東京都町田市中央1-20-23
市役所の代表電話042・722・3111
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
ホームページ http://www.city.machida.tokyo.jp

補正予算案など16議案を提案

9月議会が開会 会期は25日まで

平成12年第3回市議会定例会(9月議会)が9月1日に開会されました。本議会には、平成12年度一般会計補正予算など16議案が提案されました。議案の内訳は、予算6件、条例7件、損害賠償の額の決定1件、道路の認定・廃止2件となっております。また認定1件が提案されました。会期は25日まで、本会議の日程は、本紙市民カレンダー(8面)に掲載しています。

補正予算案

今回の補正額は、一般会計が23億3,802万1千円、特別会計が6億9,898万9千円、補正後の額は、一般会計が11億4,141万2千円、特別会計が9億5,599万2千円、一般会計と特別会計の合計で20億9,740万1千円となります。

一般会計補正予算の歳入の主なものは、繰越金11億4,453万1千円、利子割交付金5億5,244万8千円、繰入金2億7,559万5千円、国庫支出金1億8,659万3千円、財産収入778万2千6百円、都支出金3,604万7千円、の順。

歳出の主なものは、総務費12億7,261万8千円、民生費9億9,987万7千円、土木費9,527万7千円、教育費4,195万2千円、の順となっています。補正後の内訳は、歳入では市税62,881万9,800円(構成比55.1%)、国庫支出金10,255万2,487円(9.0%)、都支出金9,763万1千円(8.6%)の順。歳出では、民生費31.4億、国庫補助金等交付金11.1億、国土交通省補助金1.7億、国土費23.6億、国土交通省補助金2.0億、教育費17.7億、1.6億、9千円(15.5%)、総務費1.4億、5,439万6千円(12.5%)、衛生費12,899,500円(12.3%)、5万)など。

【総務費】 財政調整積立金の財政事務費(10億円)、成瀬駅前口自転車駐留場改修整備負担金などの自転車対策費(5千94万)。(仮称)成瀬台中規模集会所用地購入費、(仮称)木曾地区中規模集会所用地購入費などの中規模地域会館購入費(2億3,834万)など。

【民生費】

(仮称)木曾町高齢者在宅サービスセンター整備補助金、特別養護老人ホーム美容園移転改築整備費補助金、ほろ性高齢者グループホーム整備費補助金などの高齢者福祉施設整備事業費(5億2,448万)。(都制度)などの乳幼児医療費助成費(12,355万)など。

【教育費】

管理用パソコン使用料の(小学校)学校管理運営費(503万)。(中学校)学校管理運営料(2,34万)。(図書)購入費の金銭図書館費(500万)など。

【衛生費】

歯科医療連携推進事業委託料などの保健医療対策事業費(475万)など。

【土木費】

町田市元気を出せ商店街事業補助金の事業助成費(1295万)など。

【商工費】

町田市元気を出せ商店街事業補助金の事業助成費(1295万)など。

市内各地で防災訓練 約1万人の参加者が災害に備えました



応急救命訓練

8月27日、全国一斉に行われている防災週間を前に、忠生一小を中心に、市内全域で総合防災訓練が行われました。消防署、消防団などの関係機関、自主防災組織などの市民約1万人が参加し、いざというときに備えました。なお、この訓練は、防災行動力の向上や防災意識の高揚、災害対策の習熟、様々な防災協定に基づく相互の連携体制の確立などを図ったものです。

手数を改定するための「手数料条例の一部を改正する条例」、本町田高齢者在宅サービスセンター完成に伴う「高齢者在宅サービスセンター条例の一部を改正する条例」、廃棄物処理手数料を改定するための「廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例」、忠生第四小学校と木曾小学校の統廃合に伴う木曾川小学校の設置のための「学校設置条例の一部を改正する条例」などです。

まちだに静かな空を返せ

米軍、外務省、防衛庁などに夜間連続離着陸訓練(NLP)の中止を要請



市役所上空を飛ぶ米軍機

市では、8月30日、神奈川県及び厚木基地周辺7市ととも外務省、防衛庁、防衛施設庁に対し、9月5日から8日、18日から22日に厚木基地などにおいて行われる米軍機の夜間連続離着陸訓練(NLP)の中止を米軍に申し入れようとして、米軍に申し入れは、厚木航空施設司令官、在日米海軍司令官に対し、同訓練の中止を要請しました。これは、防衛施設庁東京防衛施設局からあった同訓練の事前通告に対して即時対応したものです。また、東京都も同様の要請をしています。

航空機騒音に対する市民の意見をいくつか紹介します

今年の1月から5月までに31件の苦情が市にも寄せられましたが、6月以降急増し、6月から8月までは267件もの苦情が寄せられています。ここでは、その中のいくつかの声を紹介します。

「眠っている子どもがびっくりして目を覚ましてしまう」(森野六丁目在住)、「昼、夜(10時すぎまで)とキーンとした音を出し、耳が張り裂けるほどの騒音で大変迷惑しています」(野津田町在住)、「窓を開けていると会話もできない。市として何か米軍に抗議等をしているのでしょうか」(森野五丁目在住)、「あまりの騒音で町田にきたことを後悔している毎日です。あんなに低空飛行をしていれば、何時かは落ちて大惨事になるかと思えます」(金森在住)、「戦時中、学徒動員で機銃掃射を受けた生々しい思い出を...。在宅の高齢者にとって、静かな中で暮らしたいと思えます」(南谷在住)などです。

いわれています。しかし、こうした米軍機の訓練日程や飛行スケジュールについて、米軍はNLPを除いて地元自治体にさえ、いささか公表していません。町田市上空を威嚇するよう、米軍機は、住宅密集地での墜落事故を連想させるなど、怖と不安を抱かせます。市としては、このようなことを決して容認することはできません。今後も東京都、神奈川県や基地周辺の各市とともに、夜間連続離着陸訓練などの中止を強く要請していきます。

国勢調査 街頭キャンペーン

10月1日に国勢調査が実施されます。実施に先立ち、市民の皆さんに国勢調査に対する理解を深めていただくため、街頭キャンペーンを行います。

ステーション(午前・午後各1回)やPR用品の配布などを行います。

直接会場へおいで下さい。

日時 9月23日(祝)午前11時～午後4時

会場 JR横浜線町田駅南口タ1ミナル市民広場

町田市総務課統計係 724・2106、東京都総務局統計部管理課 03・53388・2516